

第65回全国学校保健研究大会報告

日 時 : 平成27年12月3日、4日

場 所 : にぎたつ会館

第6課題 学校環境衛生

研究協議の内容

1. 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について
2. 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について
3. 児童生徒が主体的に取り組む学校環境衛生活動の在り方について

講演

「学校環境衛生活動の現状と課題」

—養護教諭・保健主事の役割—

東京薬科大学 教授 北垣邦彦 先生

平成20年1月17日に公表された中央教育審議会の答申「子供の心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体として取り組みを進めるための方策について」では、学校環境衛生検査が必ずしも完全に実施されていない状況があることから、法制度の整備を検討することが求められた。この答申を踏まえ、学校保健安全法では、学校環境衛生の維持・管理に関して新たな規定が加えられている。平成21年4月1日に学校保健安全法が施行され既に6年以上が経過しており、現時点の学校における環境衛生検査の状況を把握し、課題等を検討することは大切である。

愛知県小牧市立北里小学校

日常点検では、昨年度から給食時の衛生的な環境が問題となっていた為、学校薬剤師の助言のもと、点検項目を「給食準備中における全校児童の手洗いの様子」、「配膳台の準備」、「給食当番の着衣」、「手指の消毒」、「配膳の様子」とし、給食活動時の衛生管理や教室環境の改善点が明らかになるように工夫した。

愛媛県立今治東中東教育学校

定期学校環境衛生検査は、「気流」や「浮遊粉塵」などは学校薬剤師と養護教諭が連携しておこなっているが、「ダニ」の検査は養護教諭と後期課程保健委員、「学校の清潔」については、全教職員というように、検査項目によって適切と考えられる担当者を決めて実施している。生徒・教職員の興味・関心を高める活動として各教室と職員室の「二酸化炭素」、「温度」、「湿度」を開始時・途中・終了時の3回、毎月測定し、数値、問題点、そこから発生しうる健康障害、改善の方法等をまとめ、「環境衛生検査結果のお知らせ」として、それぞれの教室に掲示し、職員へ配布している。室内の空気の現状や衛生的な環境を維持することの意味や必要性、改善方法について意識することができ、行動の変化につながった。